



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月13日

上場会社名 株式会社ラクス 上場取引所 東  
 コード番号 3923 URL https://www.rakus.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 崇則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 戦略企画部長 (氏名) 松嶋 祥文 TEL 050 (8880) 3200  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,459	33.5	909	78.5	915	79.8	616	83.8
2020年3月期第1四半期	2,590	30.4	509	9.7	509	9.6	335	12.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 616百万円 (85.8%) 2020年3月期第1四半期 331百万円 (10.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	6.80	—
2020年3月期第1四半期	3.70	—

(注) 1. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	7,486	5,518	73.7
2020年3月期	7,039	5,192	73.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 5,518百万円 2020年3月期 5,192百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.20	3.20
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	3.30	3.30

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,670	26.4	3,290	180.1	3,300	180.3	2,493	211.8	27.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	90,608,000株	2020年3月期	90,608,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	680株	2020年3月期	680株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	90,607,320株	2020年3月期1Q	90,607,391株

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社が所属する情報通信サービス市場においても、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大による景気の悪化や先行きの不透明感に加え、多くの企業がリモートワーク下で最低限の業務遂行に取り組むことを迫られたため、一時的にITへの投資が停滞する事象が見受けられました。

このような経営環境の中、当社グループは「高収益な複数サービスが生み出すキャッシュを成長サービスに集中投下」を経営方針に掲げ、2018年3月期の業績を基準として、2019年3月期から2021年3月期の3年間で、売上高、各段階利益ともCAGR（年平均成長率）30%の達成を目指しており、最終年にあたる2021年3月期においては、効率化を追求することで、高い売上高成長を維持しながら、高い利益成長を実現すべく、費用対効果を重視した成長投資を実施しております。

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大による経済活動の停滞が影響し、商談の停滞や遅れが発生しました。このような環境下において、クラウドサービスの新規受注の一時的な鈍化や、IT人材事業のエンジニアアサイン活動の遅れが発生したものの、前期までに実施した積極的な成長投資により、クラウドサービスの顧客数やIT人材事業のエンジニア数が前年同期比で大幅に増加していることから、売上高への影響は限定的に留めることができました。

一方で、方針通り効率的な成長投資に取り組んだ結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,459,726千円（前年同四半期比33.5%増）、営業利益909,016千円（前年同四半期比78.5%増）、経常利益915,943千円（前年同四半期比79.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は616,051千円（前年同四半期比83.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

## ①クラウド事業

クラウド事業は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響で商談の停滞や遅れが発生しましたが、前期までの積極的な成長投資の効果により顧客数が前年同期比で大幅に増加しており、売上高2,689,179千円（前年同四半期比35.1%増）となりました。利益面では、増収効果に加え、効率的な成長投資を実施していることから、費用が減少した結果、セグメント利益は816,532千円（前年同四半期比88.2%増）となりました。

## ②IT人材事業

IT人材事業は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響で、育成期間が終了したエンジニアのアサイン活動が停滞した結果、稼働率が低下しました。緊急事態宣言の解除を受け、6月よりアサイン活動を再開しているものの、アサインの遅れが継続しております。その一方で、エンジニア数が増加した影響により、売上高は770,547千円（前年同四半期比28.4%増）、セグメント利益は92,483千円（前年同四半期比22.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,822,048千円となり、前連結会計年度末に比べ408,737千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が236,925千円、売掛金が131,187千円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,664,336千円となり、前連結会計年度末に比べ38,462千円増加いたしました。主な要因は、繰延税金資産が49,540千円、のれんが40,948千円、顧客関連資産が18,400千円、建物及び構築物が10,483千円それぞれ減少したものの、工具、器具及び備品が108,968千円、差入保証金が54,961千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は7,486,385千円となり、前連結会計年度末に比べ447,199千円増加いたしました。

## ②負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,900,573千円となり、前連結会計年度末に比べ126,933千円増加いたしました。主な要因は、未払費用が384,529千円減少したものの、賞与引当金が202,557千円、未払金が145,031千円、預り金（流動負債「その他」）が109,461千円、未払消費税等が32,560千円、前受金が19,566千円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定負債は66,811千円となり、前連結会計年度末に比べ6,129千円減少いたしました。これは主に、長期未払費用が5,032千円、繰延税金負債が1,096千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,967,385千円となり、前連結会計年度末に比べ120,804千円増加いたしました。

## ③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,518,999千円となり、前連結会計年度末に比べ326,395千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が剰余金の配当により289,943千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により616,051千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響から経済活動が停滞し、当社の営業活動にも影響がございましたが、緊急事態宣言の解除により徐々に経済活動が再開されたことを受け、クラウドサービスの新規受注が回復傾向に向かっている他、IT人材事業においてもアサイン活動を再開しております。足元ではリモートワークへの対応ニーズも出始めており、クラウド事業においては新規受注への追い風が見込まれます。IT人材事業においてはアサイン活動を再開したものの、期初からの遅れを取り戻すまでには至っておらず、当面厳しい状態が続くものと想定しております。

2021年3月期は2018年3月期の業績を基準として、売上高及び各段階利益でCAGR(年平均成長率)30%の達成に向けて、費用対効果を重視した効率的な成長投資を実施する方針の通り、主に広告宣伝費を抑制する計画であることから、売上高は14,670,000千円（前連結会計年度比26.4%増）、営業利益3,290,000千円（前連結会計年度比180.1%増）、経常利益3,300,000千円（前連結会計年度比180.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,493,000千円（前連結会計年度比211.8%増）を計画しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,496,086	2,733,012
売掛金	1,686,540	1,817,728
商品	3,994	2,071
その他	238,042	281,016
貸倒引当金	△11,353	△11,780
流動資産合計	4,413,311	4,822,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	123,192	112,709
工具、器具及び備品(純額)	496,220	605,189
有形固定資産合計	619,413	717,898
無形固定資産		
のれん	955,476	914,527
顧客関連資産	208,533	190,133
ソフトウェア	49,212	45,961
無形固定資産合計	1,213,222	1,150,621
投資その他の資産		
投資有価証券	42,016	42,016
差入保証金	337,203	392,165
繰延税金資産	402,276	352,736
その他	19,999	17,006
貸倒引当金	△8,257	△8,109
投資その他の資産合計	793,238	795,815
固定資産合計	2,625,874	2,664,336
資産合計	7,039,185	7,486,385

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	194	121
短期借入金	3,335	—
未払金	428,937	573,969
未払費用	435,993	51,463
未払法人税等	267,314	271,514
未払消費税等	225,657	258,217
前受金	369,306	388,873
賞与引当金	—	202,557
その他	42,901	153,857
流動負債合計	1,773,640	1,900,573
固定負債		
長期未払費用	22,723	17,690
繰延税金負債	50,217	49,120
固定負債合計	72,940	66,811
負債合計	1,846,581	1,967,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,378	378,378
資本剰余金	308,028	308,028
利益剰余金	4,510,580	4,836,688
自己株式	△404	△404
株主資本合計	5,196,582	5,522,690
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	1,178	688
為替換算調整勘定	△5,155	△4,378
その他の包括利益累計額合計	△3,977	△3,690
純資産合計	5,192,604	5,518,999
負債純資産合計	7,039,185	7,486,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,590,944	3,459,726
売上原価	863,743	1,149,147
売上総利益	1,727,200	2,310,578
販売費及び一般管理費	1,218,059	1,401,562
営業利益	509,141	909,016
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	200	—
受取補償金	—	7,960
その他	66	37
営業外収益合計	267	7,998
営業外費用		
支払利息	12	1
為替差損	—	1,054
その他	—	15
営業外費用合計	12	1,071
経常利益	509,397	915,943
税金等調整前四半期純利益	509,397	915,943
法人税、住民税及び事業税	142,106	251,232
法人税等調整額	32,073	48,659
法人税等合計	174,179	299,891
四半期純利益	335,218	616,051
親会社株主に帰属する四半期純利益	335,218	616,051



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	335,218	616,051
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△851	△489
為替換算調整勘定	△2,614	777
その他の包括利益合計	△3,466	287
四半期包括利益	331,751	616,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	331,751	616,339

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(賞与引当金)

前連結会計年度においては、従業員賞与の確定額を未払費用として計上していましたが、当第1四半期連結累計期間は支給額が確定していないため、支給見込額を賞与引当金として計上しております。なお、前連結会計年度においては支給確定額362,326千円を未払費用に含めて計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,990,928	600,016	2,590,944	—	2,590,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	4,479	4,497	△4,497	—
計	1,990,946	604,496	2,595,442	△4,497	2,590,944
セグメント利益	433,763	75,378	509,141	—	509,141

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,689,179	770,547	3,459,726	—	3,459,726
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	10,209	10,228	△10,228	—
計	2,689,197	780,756	3,469,954	△10,228	3,459,726
セグメント利益	816,532	92,483	909,016	—	909,016

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。